



株式会社エイチーム

決算説明資料 2018年7月期 Q2

2018年3月9日

Index

お知らせ

- Increments株式会社の子会社化について

1. FY2018 Q2 連結決算概要
2. FY2018 Q2 セグメント別事業詳説
3. FY2018 Q3 進捗
4. FY2018 業績・配当予想
5. 中長期的な展望

- APPENDIX A : 会社概要
- APPENDIX B : 主な経営指標

お知らせ

Incrementsの子会社化について

Incrementsの子会社化について



Increments⁺

M&A 実施背景

- 『エイチームの目指す姿』の実現のため
- 資本を活用した中長期的成長の実現ならびに企業価値の向上加速のため

- サービス認知度のさらなる向上のため
- マネタイズの拡大に向け経営力強化ならびに組織基盤の拡大のため、他企業との提携を模索

選定理由

- 企業文化の融合の容易性
- Qiitaブランドのビジネスポテンシャル
- エンジニアをターゲットに、企業・事業認知度の向上

- 技術及び技術者に対するマインド
- 事業開発ノウハウ及び多角事業での成功実績
- 経営理念への共感

今後の 期待

- 「自社で容易に参入できない、参入に時間のかかる領域」における新たな事業の成長による収益貢献
- エンジニアをターゲットとする認知度の向上による採用力の向上

- 経営力の強化
- Qiitaブランドを軸とする事業開発及び事業成長

Incrementsの事業内容及びビジネスモデル



プログラミングに特化した
オープンな情報共有コミュニティ

キータ

2011年リリース、広告課金モデル



Markdown

かんたんに
わかりやすく書ける



編集リクエスト

みんなで情報を
洗練する



ストック

気になる投稿を
保存して見返す

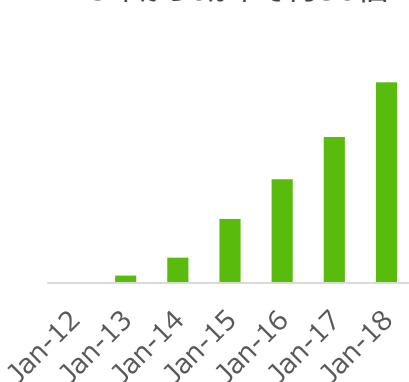


Contribution

自分の活動成果が
数字でわかる

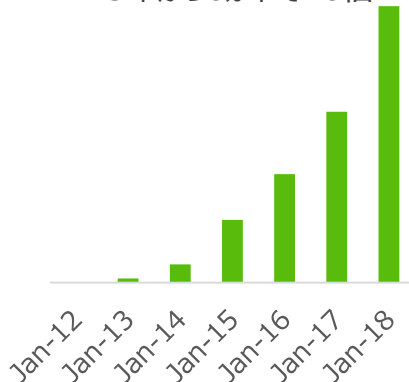
月間UUの推移

■ 13年から6か年で約30倍



月間PV数の推移

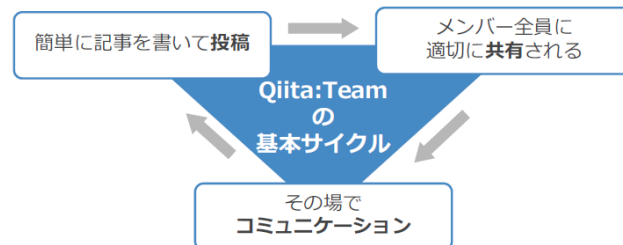
■ 13年から6か年で70倍



"書く"ことの敷居が低い、
社内向け情報共有サービス

キータチーム

2013年リリース、アカウント課金モデル



※ Increments運用事業のセグメント区分：「ライフスタイルサポート事業」のサブセグメント「その他」（「その他」にはラールン、Qिता、Qिता:Team、その他新規サービスが含まれます）

Increments代表取締役 海野弘成の略歴

1988.03.23

兵庫県生まれ

2009-2010

プログラマとしてGoogle等のインターンを経験

2011.09

大学在学中に「Qiita」をリリース

2011.09

京都大学 工学部情報学科 卒業

2012.02.29

Increments株式会社を設立

Hiroshige Umino

- プログラマ出身の経営者として、プログラマが成果を出しやすい環境や自立した組織づくりを推進
- 2017年 Forbesのアジアを代表する30歳未満の起業家30人(エンタープライズテクノロジー部門)に選出



1. FY2018 Q2 連結決算概要

2. FY2018 Q2 セグメント別事業詳説
3. FY2018 Q3 進捗
4. FY2018 業績・配当予想
5. 中長期的な展望

FY2018 Q2 会計期間決算サマリー (2017.11-2018.01)

全社

Y/Y、Q/Qともに増収増益

- 売上高 : 9,164百万円 (Y/Y 112.5%、Q/Q 102.9%)
- 営業利益 : 1,093百万円 (Y/Y 149.9%、Q/Q 113.4%)
- 当期純利益 : 754百万円 (Y/Y 140.3%、Q/Q 111.2%)

※親会社株主に帰属する当期純利益 (本頁以降同様)

エンターテインメント

Y/Y減収増益、Q/Q増収増益

- セグメント売上 : 4,319百万円 (Y/Y 88.4%、Q/Q 100.1%)
- セグメント利益 : 884百万円 (Y/Y 109.6%、Q/Q 102.3%)

Y/Yで減収傾向にあるものの、主にユニゾンの年末年始イベント効果によりQ/Qではフラット

売上高構成比

47.1%

ライフスタイルサポート

Y/Y、Q/Qともに増収増益

- セグメント売上 : 4,313百万円 (Y/Y 146.1%、Q/Q 109.1%)
- セグメント利益 : 686百万円 (Y/Y 209.9%、Q/Q 124.7%)

各サブセグメントが総じて好調に推移

売上高構成比

47.1%

EC

Y/Y増収、Q/Qは減収

- セグメント売上 : 531百万円 (Y/Y 172.5%、Q/Q 83.8%)
- セグメント利益 : -68百万円 (Y/Y -、Q/Q -)

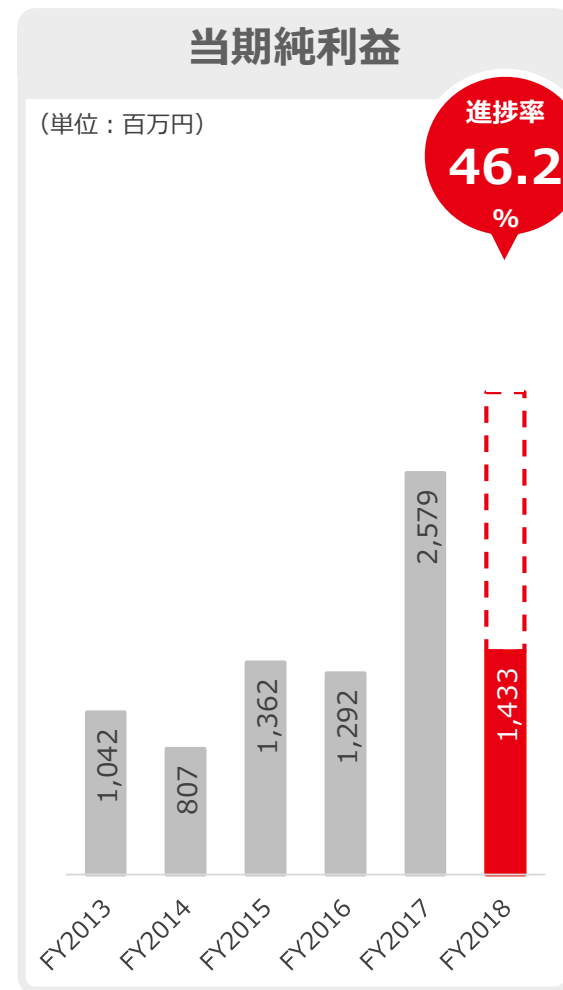
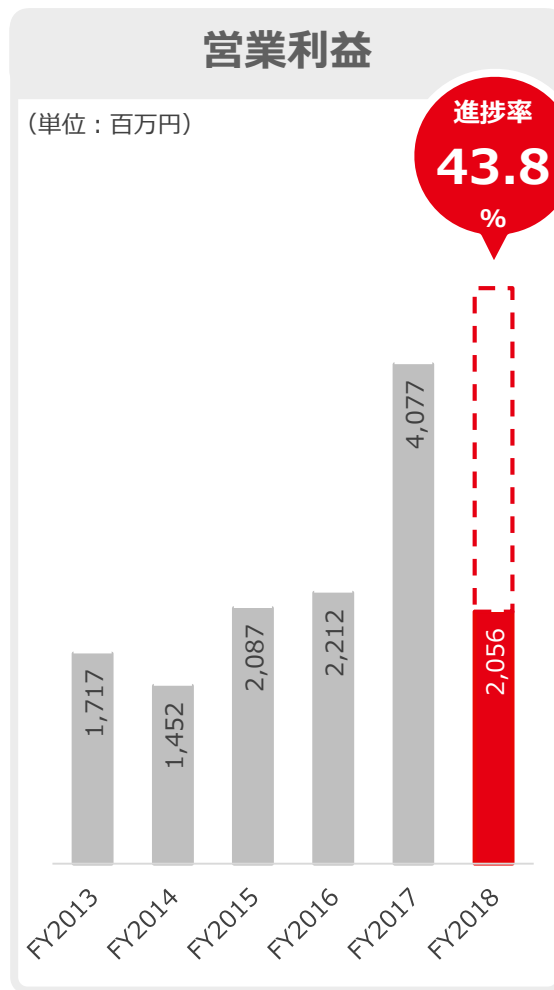
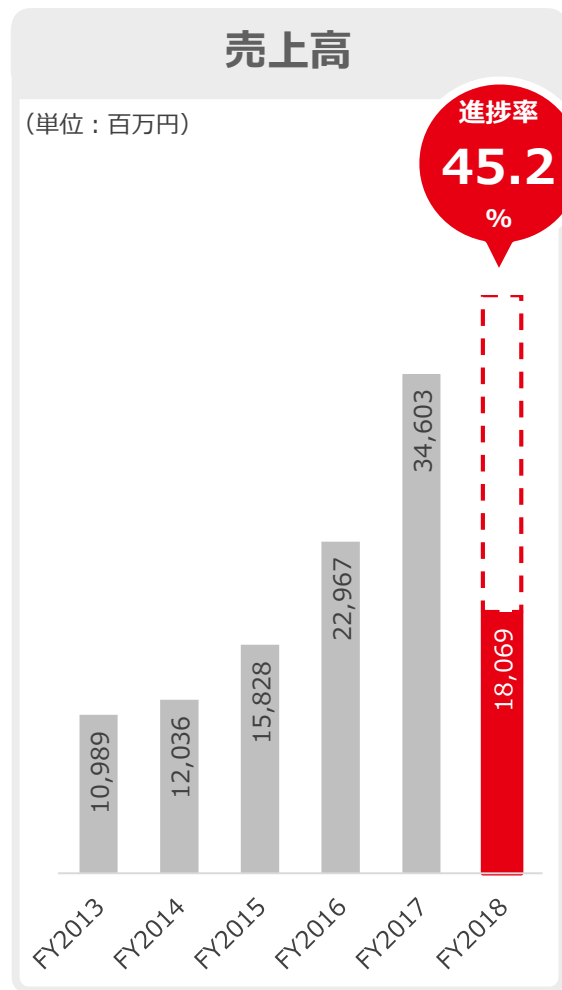
事業規模が順調に拡大しY/Yで大幅に成長、Q/Qでは閑散期のため減少

売上高構成比

5.8%

連結売上高・利益の推移及びFY2018業績予想に対する進捗率

(参考) 通期予想：売上高 400億円、営業利益 47億円、当期純利益 31億円



FY2018 Q2累計期間及び会計期間業績概要

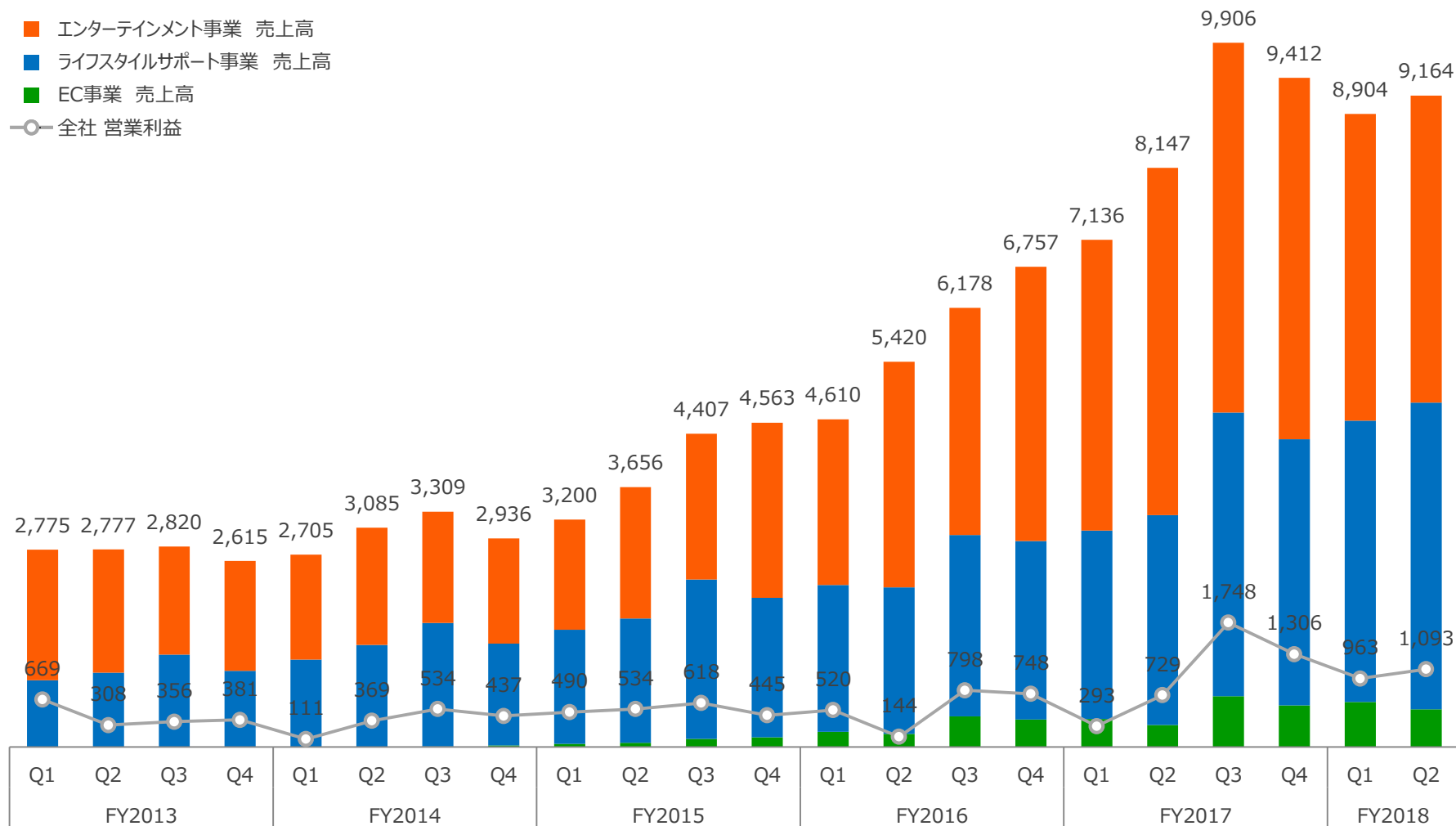
(単位：百万円)

FY2018 Q2 累計期間 (6ヵ月) (2017.08 – 2018.01)					FY2018 Q2 会計期間 (3ヵ月) (2017.11 – 2018.01)					
	FY2018		FY2017	Y/Y	FY2018		FY2017	Y/Y	FY2018	Q/Q
	Q2累計	%	Q2累計		Q2	%	Q2		Q1	
売上高	18,069	100.0%	15,283	118.2%	9,164	100.0%	8,147	112.5%	8,904	102.9%
営業利益	2,056	11.4%	1,022	201.1%	1,093	11.9%	729	149.9%	963	113.4%
経常利益	2,076	11.5%	1,071	193.9%	1,096	12.0%	778	140.8%	980	111.8%
当期純利益	1,433	7.9%	676	212.0%	754	8.2%	537	140.3%	678	111.2%

連結四半期売上高・営業利益の推移

(単位：百万円)

- エンターテインメント事業 売上高
- ライフスタイルサポート事業 売上高
- EC事業 売上高
- 全社 営業利益



※ ライフスタイルサポート事業の季節要因（引越し、自転車EC事業の繁忙期2-4月、自動車関連事業の繁忙期12-翌2月）により、例年Q3（2-4月）がピーク

主な経営指標の四半期推移

(単位：百万円)

	FY2015			FY2016				FY2017				FY2018	
	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
売上高	3,656	4,407	4,563	4,610	5,420	6,178	6,757	7,136	8,147	9,906	9,412	8,904	9,164
営業利益	534	618	445	520	144	798	748	293	729	1,748	1,306	963	1,093
広告宣伝費	1,439	1,903	1,955	1,817	2,326	2,433	2,758	3,432	3,551	3,623	3,410	3,600	3,866
人件費 採用費	682	695	736	745	805	814	884	872	935	931	1,066	1,025	1,089
キャリア手数料 支払手数料	559	671	869	841	1,171	1,177	1,401	1,468	1,779	2,051	2,108	1,588	1,572
外注費 サーバー費	190	197	235	257	267	275	235	254	297	315	331	532	518
オフィス賃料	105	105	111	138	235	177	177	178	218	238	243	249	251
期末人員数 (人)	533	533	530	548	559	574	583	605	627	710	718	723	788

※ 四半期末人員数には本体及び国内外グループ会社の役員（本社社員に属さない子会社役員を含む）、正社員、契約社員、派遣社員及びアルバイトを含む

※ アルバイト・派遣の人員数は四半期平均雇用人数（1日8時間換算）

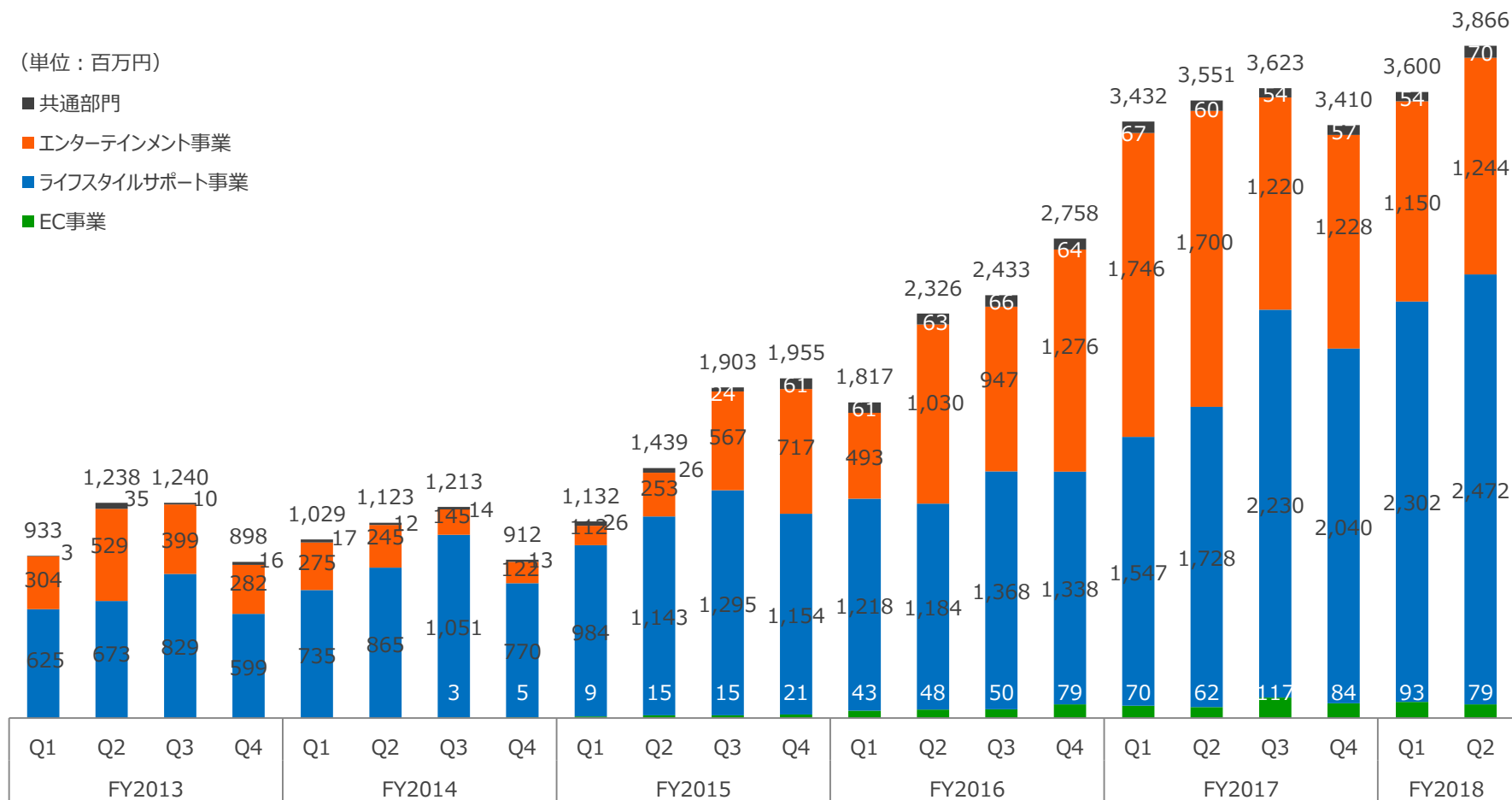
※ 「支払手数料」、「外注費」の一部計上変更について：

ライフスタイルサポートの引越し関連事業で展開している引越し周辺サービス「エアコン取付け・取外し工事」等の外部委託費用について、FY2017までは「支払手数料」として計上したものの、取引に対する当社及び委託先の役割の変化を鑑み、「外注委託」に該当すると判断したため、FY2018より「外注費」として計上

セグメント別広告宣伝費の四半期推移

■ エンタメは年末年始イベント等を除き、全体で売上トレンドを勘案しながら広告費を抑制

■ ライフは一部サービスの繁忙期に向け、プロモーションを強化したため、増加



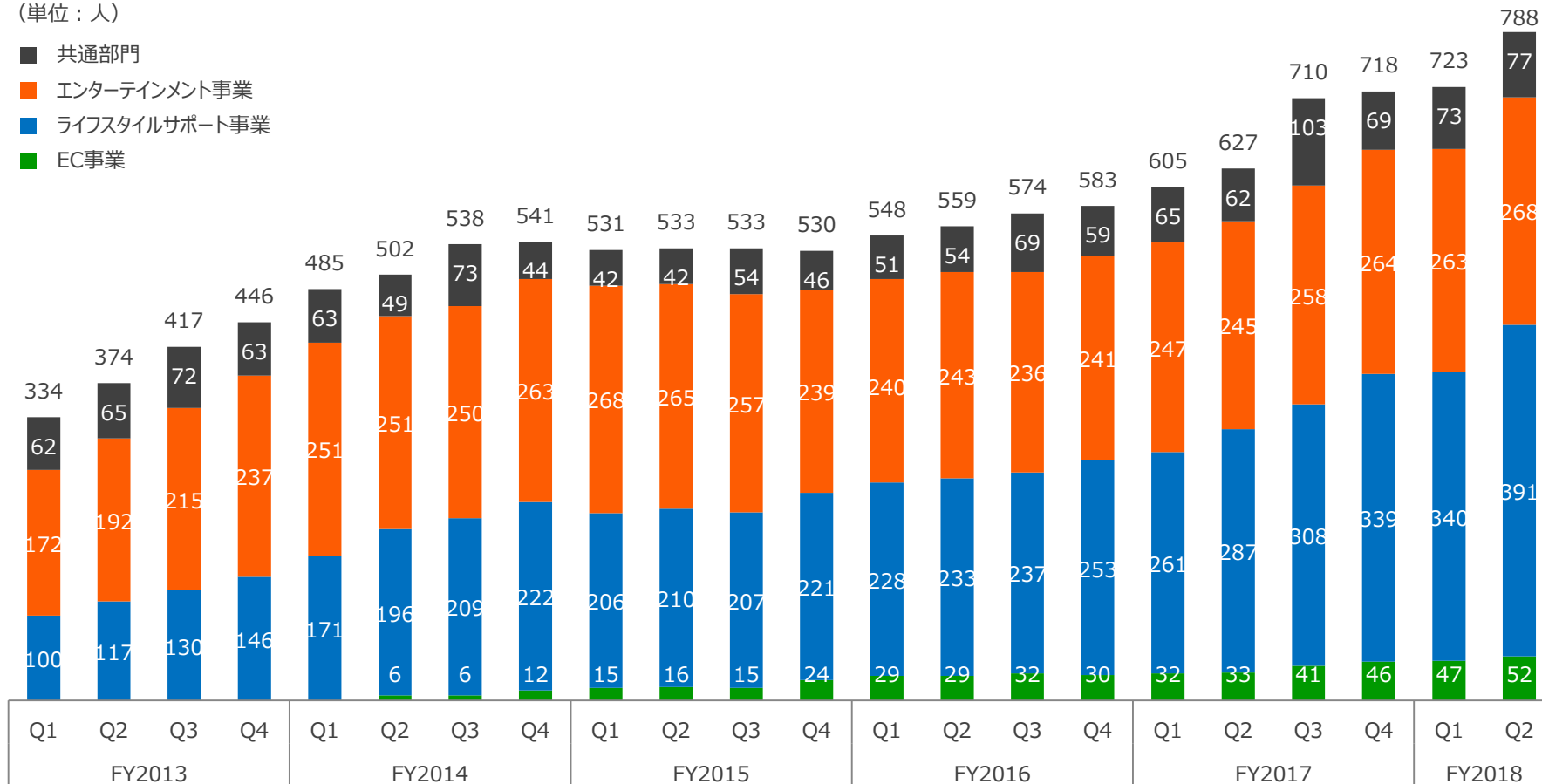
セグメント別人員数の四半期推移

順調な採用に加え、Incrementsの完全子会社化により、ライフ事業の人員数が急増

- Incrementsの人員数：15名（アルバイトを除く）

(単位：人)

- 共通部門
- エンターテインメント事業
- ライフスタイルサポート事業
- EC事業



※ 四半期末人員数には本体及び国内外グループ会社の役員（本社社員に属さない子会社役員を含む）、正社員、契約社員、派遣社員及びアルバイトを含む
 ※ アルバイト・派遣の人員数は四半期平均雇用人数（1日8時間換算）

貸借対照表

2017年12月にIncrements株式会社を子会社化したことにより、暫定概算金額としてのれん1,283百万円を無形固定資産として計上したため、固定資産が大幅に増加

(単位：百万円)

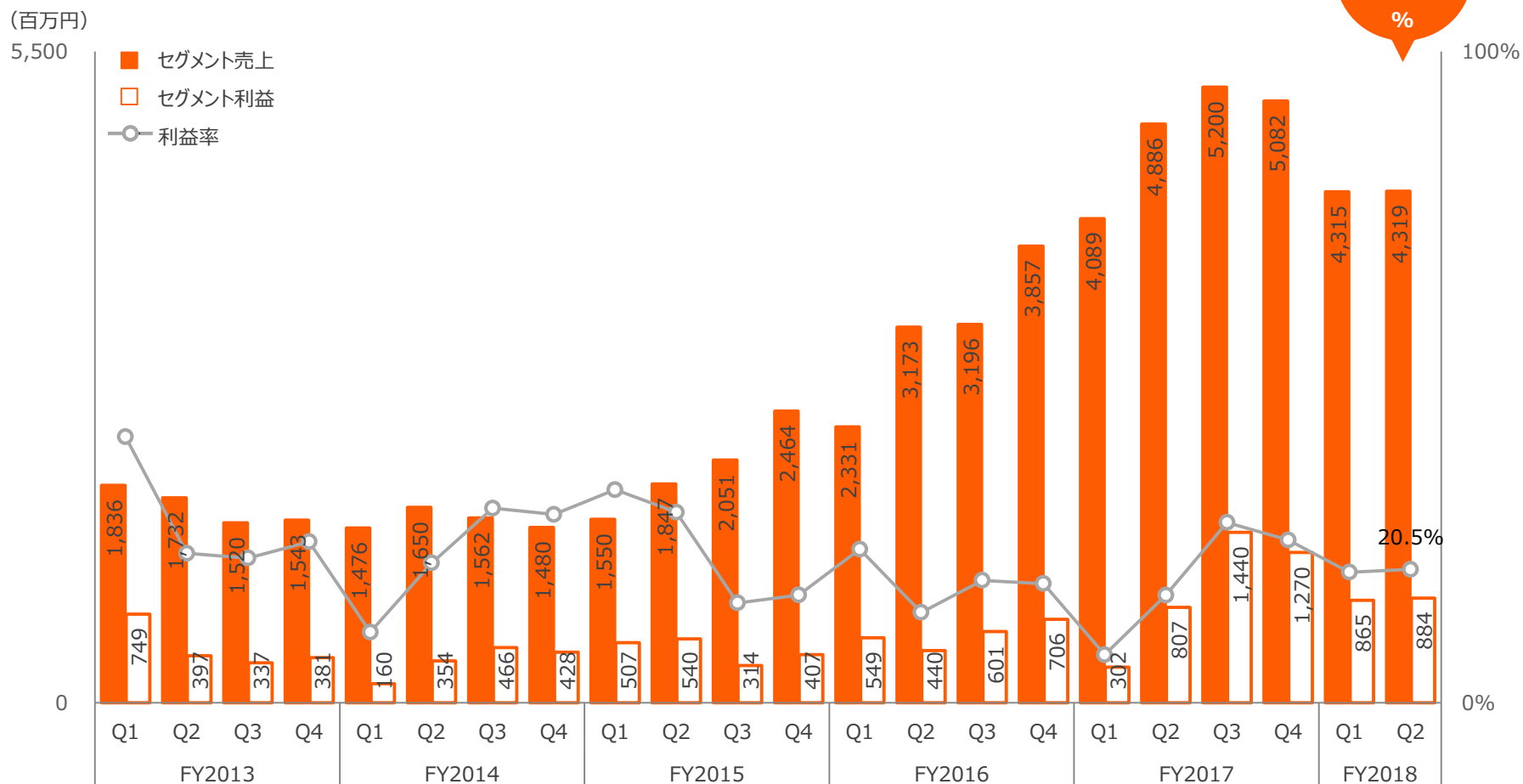
	FY2018 Q2	FY2018 Q1		FY2018 Q2	FY2018 Q1
流動資産	9,854	10,226	流動負債	4,207	4,160
現預金	4,441	5,556	固定負債	482	481
売掛金	4,028	3,584	負債合計	4,690	4,642
固定資産	4,609	3,392	有利子負債	390	586
有形固定資産	1,613	1,659	株主資本	9,685	8,885
無形固定資産	1,892	576	純資産合計	9,774	8,976
資産合計	14,464	13,619	負債純資産合計	14,464	13,619

2. FY2018 Q2 セグメント別事業詳説

- 3. FY2018 Q3 進捗
- 4. FY2018 業績・配当予想
- 5. 中長期的な展望

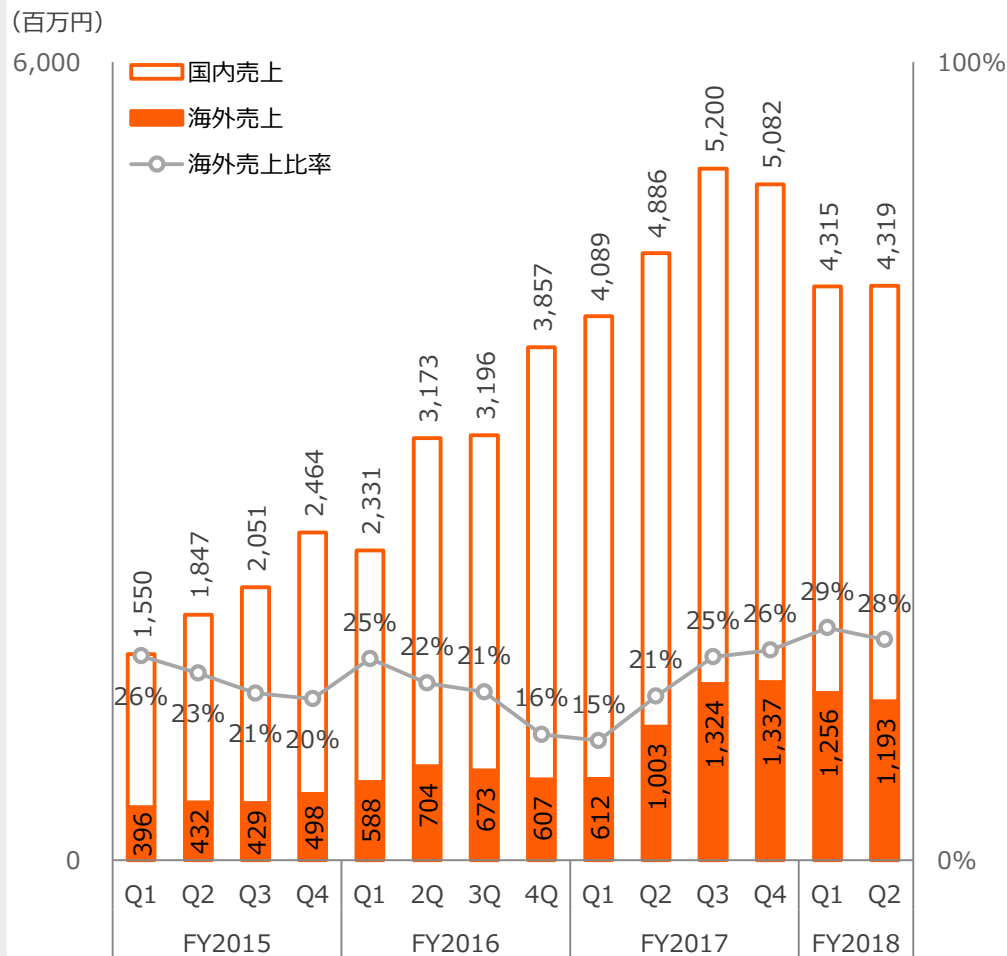
エンターテインメント事業 四半期売上高・営業利益の推移

全体的に減収傾向にある中、ユニゾンリーグの年末年始イベントが寄与し、売上、利益ともに微増



エンターテインメント事業 海外売上の四半期推移

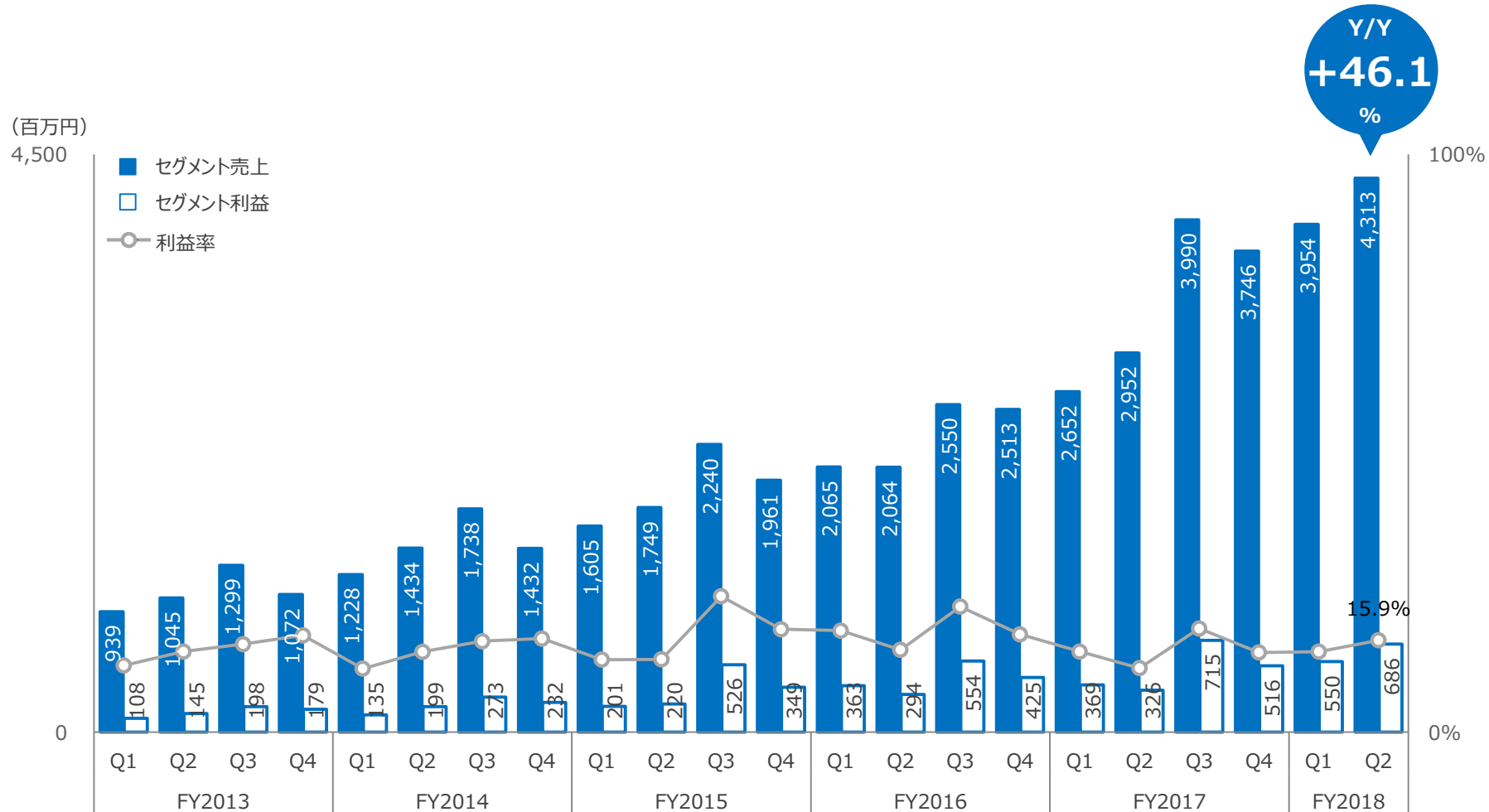
海外売上の推移



配信国・地域	日本	北米	ヨーロッパ圏	台湾/香港	韓国	東南アジア	中国本土
ヴァルコネ	●	●	●	●	●	●	●
ユンソン	●	●	●	●	●	●	●
ダビパク	●			●		●	
さんすま	●			●			
レギオン	●	英語版					
サマナー	●	英語版					

ライフスタイルサポート事業 四半期売上高・営業利益の推移

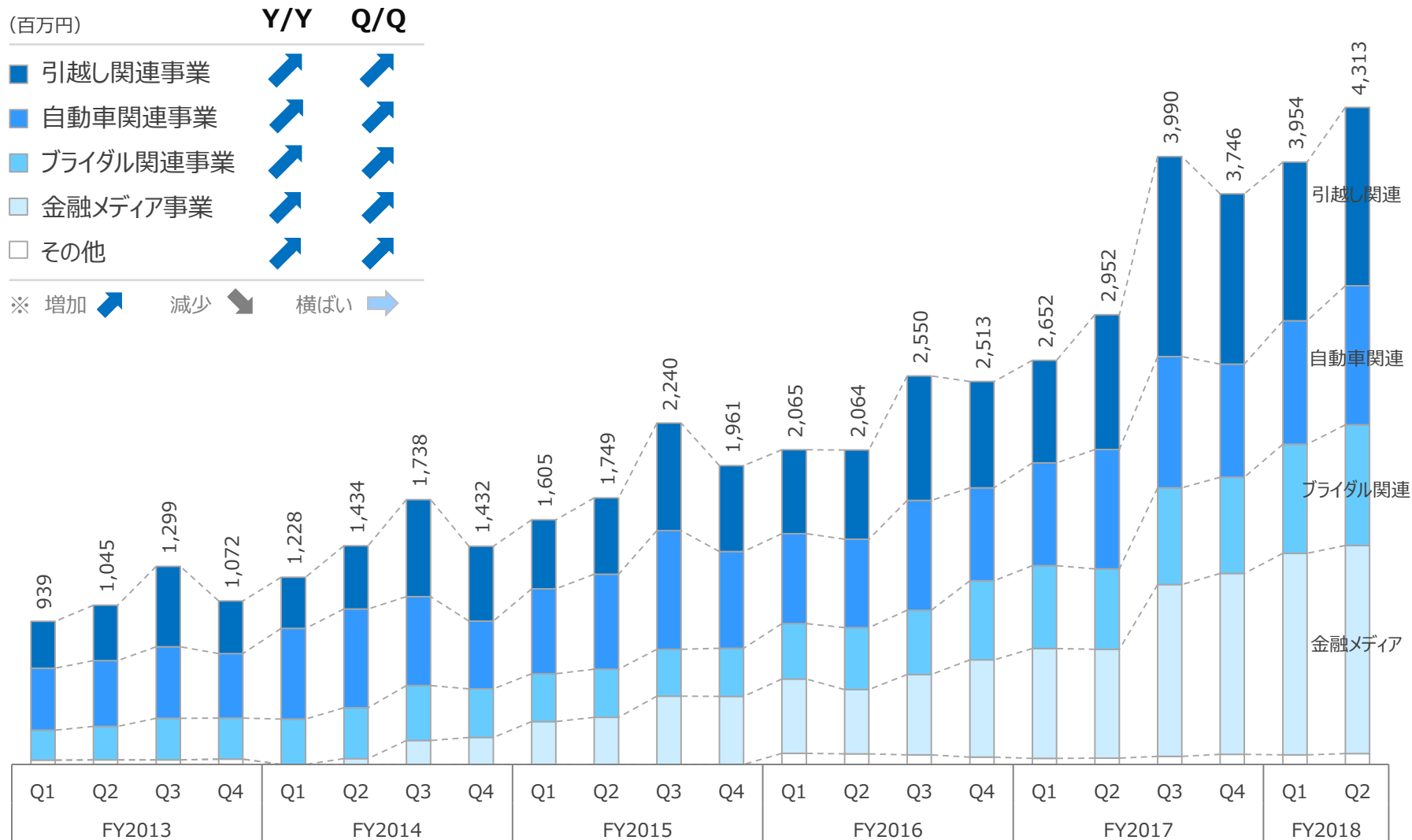
好調に推移し、Y/Yで大幅に増収増益



※ FY2017（2016年8月1日）より、自転車ECを単独セグメント化し、当社事業セグメントは「エンターテインメント事業」、「ライフスタイルサポート事業」、「EC事業」3つになりました

※ 本チャートでは、新セグメント区分に基づき、従来の「ライフスタイルサポート事業」から同資料21頁のEC事業の売上・利益を除いた数値を記載しています

ライフスタイルサポート事業 サブセグメント別四半期詳説



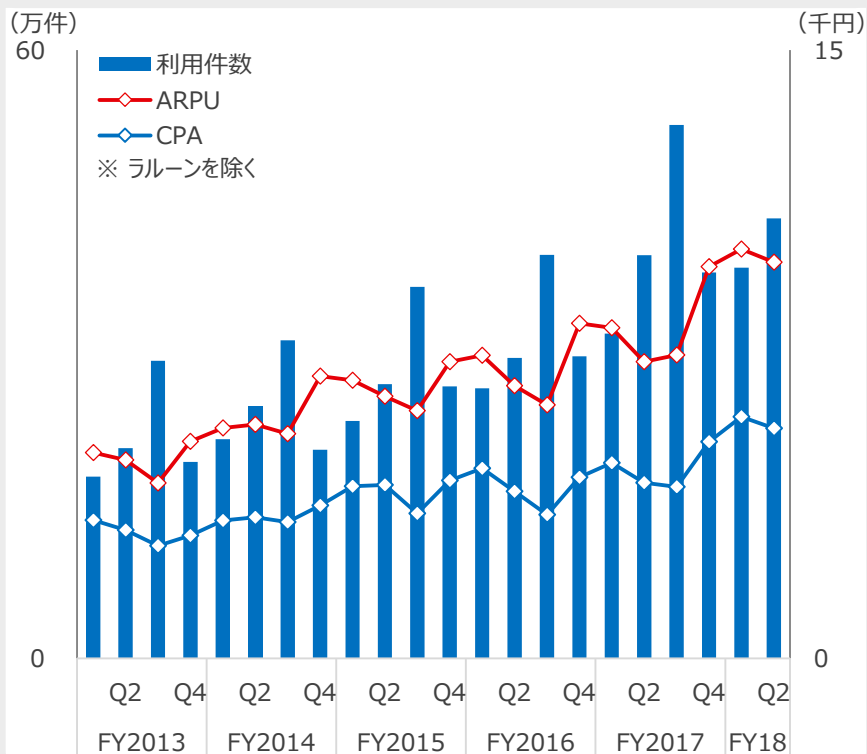
※ 2017年12月に完全子会社化したIncrements株式会社は、みなし取得日をFY2018 Q2末日としているため、FY2018 Q2の業績には含まれません

ライフスタイルサポート事業 主なKPIの四半期推移

利用件数・ARPU・CPA

利用件数がY/Yで増加

ARPU、CPAは概ね例年と同様なトレンドで推移



粗利額・粗利率

粗利額がY/Yで大幅に増加

粗利率は30強～40%弱の水準で安定推移

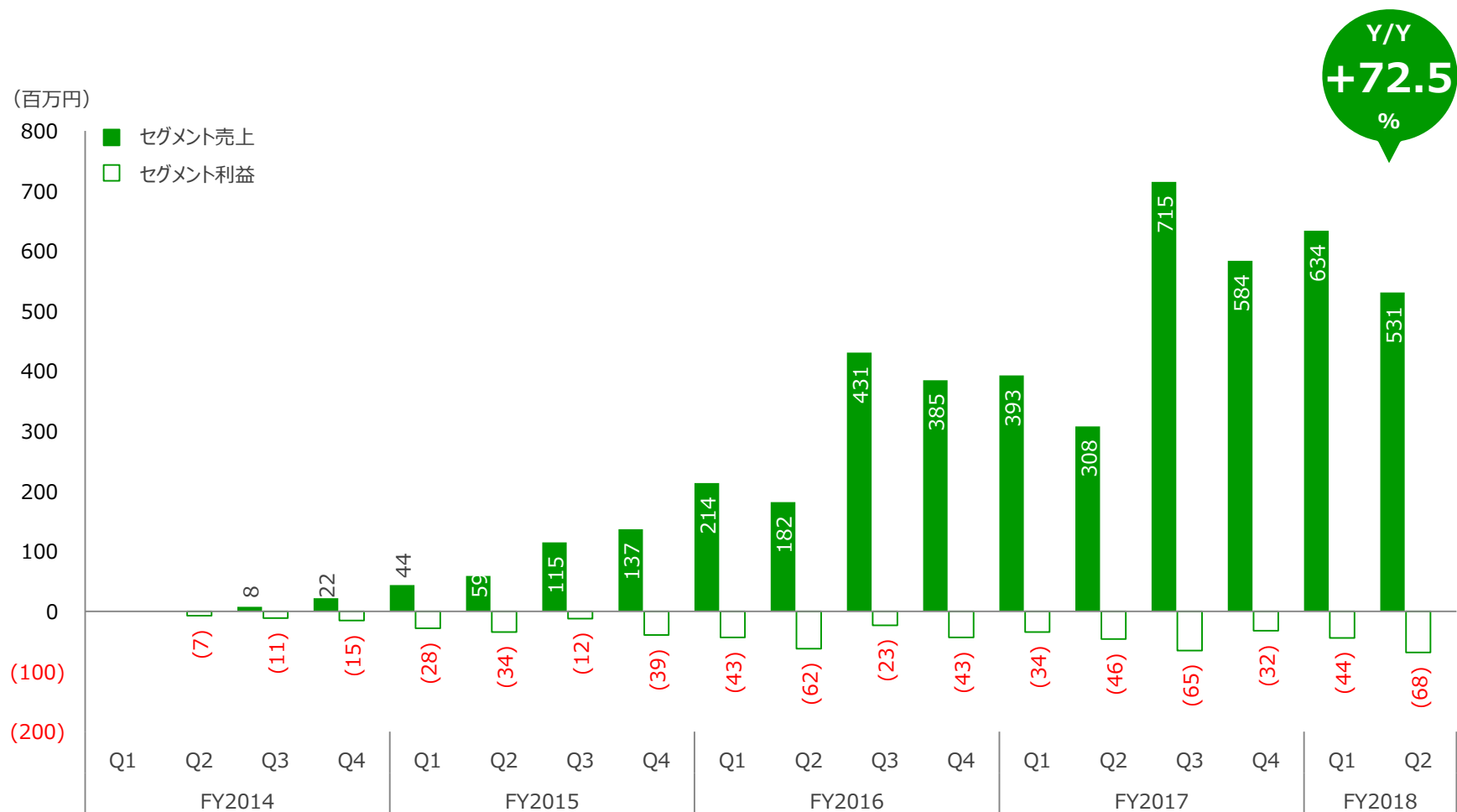


- 【①利用件数】= 主要4事業の利用件数 (各サービスの利用件数のうち、売上が発生した件数) の合計 (※同一利用者が複数サービスを利用した場合、獲得コスト発生ベース)
- 【②ARPU: 利用者1人/組あたりの売上高】= セグメント売上 ÷ 【①利用件数】
- 【③CPA: 顧客獲得1人あたりの広告単価】= 広告宣伝費 ÷ 【①利用件数】

- 【④粗利額】= セグメント売上 - (広告宣伝費 + 仕入原価)
- 【⑤粗利率】= 【④粗利額】 ÷ セグメント売上
- ※ 仕入原価等はGross計上分 (エアコン仕入原価、エアコン工事委託費、ハナユメ定額ウェディング原価、マシリング仕入原価、ハナユメフォト仕入原価) が対象

EC事業 四半期売上高・営業利益の推移

Y/Yで引き続き大幅増収



※ FY2017 (2016年8月1日) より、自転車ECを単独セグメント化し、当社事業セグメントは「エンターテインメント事業」、「ライフスタイルサポート事業」、「EC事業」3つになりました

※ EC事業の自転車通販サイト「cyma -サイマ-」は2013年12月よりサービスを開始しております。繁忙期：3-4月 (Q3)

3. FY2018 Q3 進捗

- 4. FY2018 業績・配当予想
- 5. 中長期的な展望

セグメント別トピックス

全社

- | 2月に福岡オフィスのオープン、ベトナムオフィスの移転を実施
- | グループ全体で採用拡大に向け、「新卒向け会社説明会の廃止及び企業説明動画の導入」、「Facebookとの合同のセミナーの開催」等新たな取り組みを実施
- | 「働きがいのある会社」ランキングに5年連続ランクイン

エンターテインメント

- | **Game Boost Master** ▶ 快適なゲームプレイ環境を提供するメモリ解放アプリ『Game Boost Master』をGoogle Play (TM) 142か国、11言語に対応し配信
- | **ヴァルキリーコネクト** ▶ 全世界累計1,200万DLを突破
▶ 2/15に『エヴァンゲリオン』とのコラボイベントを開催
- | **ユニゾンリーグ** ▶ 全世界累計900万DLを突破
- | **ダービーインパクト** ▶ 『社長 島耕作』と初となるIPコラボイベントを開催



ライフスタイルサポート

- | **ブライダル関連事業** ▶ 1月の関西エリアに継ぎ、2月に「ブライダルフェスタ by Hanayume 2018東海」吹上ホールで開催
▶ 4月にハナユメウエディングデスク銀座店を移転リニューアルオープン予定
- | **その他 (Increments)** ▶ QiitaがNewsPicksとエンジニア向け採用広告同時展開で連携

4. FY2018 業績・配当予想

5. 中長期的な展望

FY2018 連結業績予想及び進捗率

2018年2月16日にFY2018中間業績予想を修正

通期業績見通しについては、不確定要素が多く、現時点では従来予想を据え置く

(単位：百万円)

	FY2017 実績		FY2018 (2017.08-2018.07) 予想					
	中間実績	通期実績	中間実績	中間予想 (2/16修正)	中間予想 達成率	通期予想	構成比	進捗率 (対通期)
売上高	15,283	34,603	18,069	18,000	100.4%	40,000	100.0%	45.2%
エンターテインメント事業	8,976	19,259	8,635	-	-	19,500	48.8%	44.3%
ライフスタイルサポート事業	5,605	13,342	8,267	-	-	18,000	45.0%	45.9%
EC事業	702	2,001	1,166	-	-	2,500	6.3%	46.7%
営業利益	1,022	4,077	2,056	2,000	102.8%	4,700	11.8%	43.8%
経常利益	1,071	4,118	2,076	2,000	103.8%	4,700	11.8%	44.2%
当期純利益	676	2,579	1,433	1,330	107.7%	3,100	7.8%	46.2%

※ FY2017 (2016年8月1日) より、自転車ECを単独セグメント化し、当事業セグメントは「エンターテインメント事業」、「ライフスタイルサポート事業」、「EC事業」三つになりました。

FY2018の取り組み及び業績予想の考え方

全社

中長期的な成長に向け、引き続き人材の獲得・育成及び環境の整備・組織体制の構築に注力予定

- 福岡オフィス開設と同時に、採用強化を実施予定

エンターテインメント

既存はY/Yで横ばい予想；新規は一定費用を織り込み、収益貢献は保守的に予想

- ヴァルキリーコネクト、ユニゾンリーグ等、既存の効率的な運用と成長余地のある海外での売上拡大に注力予定
- その他既存ゲームアプリは経過年数や足元のKPI推移を勘案しつつ、ゆるやかな減少を前提に、全体では横ばい
- リリース予定の新規（1～2本）は、リリース時のプロモーション費用等を織り込み、収益貢献は保守的に予想

ライフスタイルサポート

各サービスの収益力、KPIを踏まえ、季節要因等想定可能な影響要因を加味して予想

- サブセグメント事業それぞれにおいて、利用者数の増加、利用者1人当たり売上高の向上ならびに利益率の向上を図りながら、サービス間の相互送客・継続顧客の獲得に注力予定
- 各サブセグメントの周辺サービスや新たな産業領域におけるサービスについては、現時点で想定可能な範囲内で企画・開発に必要な費用を織り込んで業績を予想

EC

足元のKPIを踏まえ、季節要因等を加味しながら想定可能な範囲内で合理的に予想

- 引き続き組織基盤・体制を整えるための継続投資費用を十分に織り込む
- 収益貢献は足元のKPIを踏まえつつ、神戸物流拠点を軌道に乗せ、キャパシティ増大による売上拡大を見込み、季節要因等を加味しながら想定可能な範囲内で合理的に予想

FY2018 配当予想（再掲）

今後も業績を勘案しつつ、通期配当性向20%前後の株主還元を継続予定

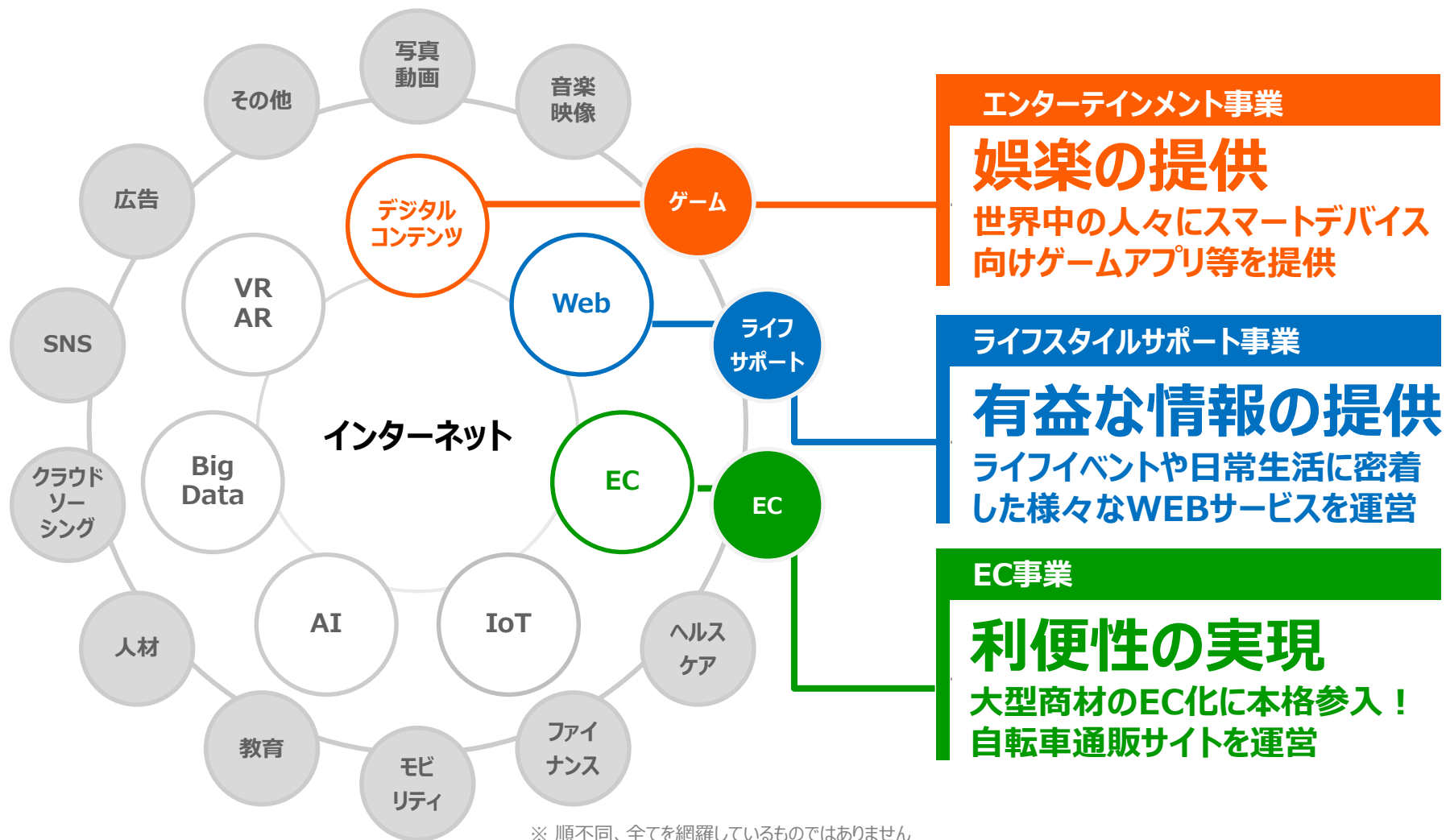
	FY2015 実績		FY2016 実績		FY2017 実績		FY2018予想
	中間	期末	中間	期末	中間	期末	期末
基準日	01/31	07/31	01/31	07/31	01/31	07/31	07/31
配当実施日	04/03	10/13	04/04	10/07	04/04	10/06	10月（予定）
1株当たり 配当金	5円 00銭	7円 50銭	5円 00銭	7円 50銭	5円 00銭	22円 00銭	32円 50銭
配当総額	238百万円		239百万円		517百万円		-
(通期) 配当性向	17.7%		18.2%		19.8%		20%（予定）

※配当実施方法につきましては、これまでに中間配当及び期末配当、年2回に分けて配当を実施してまいりましたが、当社が展開するビジネスの特性上、利益が下期偏重型となっており、通期業績をもって配当方針に沿った配当金額を決定すべく、FY2018より、年1回の期末配当のみとさせていただきます。

5. 中長期的な展望

エイチームの目指す姿

今後もインターネットを使った様々なビジネス領域に挑戦し続けます！



事業の展望（数字を約束するものではありません）

全社

既存の三つの事業軸を基本としながらも、枠にとらわれず、様々な事業にチャレンジし、新たな収益源を創出します

エンターテインメント

- | 日本で企画・開発・運営、世界中の人々に娯楽を提供
 - 北米だけでなく、欧州市場、さらにアジア圏を狙う
- | 全世界に向けて月商10億円規模のアプリを複数創出
 - 海外売上比率50%強を目指す

ライフスタイルサポート

- | 既存のメイン4サービスそれぞれ年商50億円規模に
 - 4サービスの合計で年商200億円～300億円規模をイメージ
- | 有益な情報を提供し、生活をより豊かに、より便利にするサービスを順次開拓

EC

- | 自転車通販No.1サイトを目指す
 - 2020年までに国内自転車販売台数の3%を目指す
- | まだEC化が進んでいない商材へ挑戦

M&A及びベンチャー投資の方針

ミッション

『エイチームの目指す姿』につなげる、資本を活用した中長期的成長の実現ならびに企業価値向上の加速

M & A

- 既存事業の競争力強化につながると想定される企業や事業

 - エンターテインメント：（例）ユーザーを獲得・確保するための国内外のメディア等
 - ライフスタイルサポート：（例）シェア拡大やシナジーが見込まれる事業、関連メディア等
 - EC：（例）自転車に限らず、国内外における他の商材EC等
- 自社で容易に参入できない、或いは参入に時間のかかる事業を持つ企業

ベンチャー投資

- エイチームが参入するには不確実性が高いものの、将来的にみて魅力度が高い事業ドメインや技術を持つ未上場ベンチャー企業への出資
- エイチームの既存ノウハウを活かすことにより、大きな成長が見込まれる事業を展開する未上場ベンチャー企業への出資及び業務提携

APPENDIX A

会社概要

会社概要 (2018年1月31日現在)

商 号	株式会社エイチーム
証券コード	東証1部 3662
設 立	2000年2月29日
本社所在地	名古屋ビルヂング32F
代表取締役社長	林 高生
業 種	情報・通信
セ ク タ ー	ゲーム・インターネット・EC
決 算 期	7月末
連結子会社数	6社 (国内5社、海外1社)
連結人員数	735名 (役員、アルバイトを除く)
単元株式数	100株



名古屋ビルヂング



本社受付



梅田阪急ビル



品川イーストタワー

代表取締役社長の略歴



1971.12.18

岐阜県土岐市に生まれる

1982.12

コンピュータープログラミング 開始

1987.03

多治見市立多治見中学校 卒業

1987.04 ~

学習塾経営・さまざまなアルバイト

1997.06

個人事業として「エイチーム」創業

2000.02.29

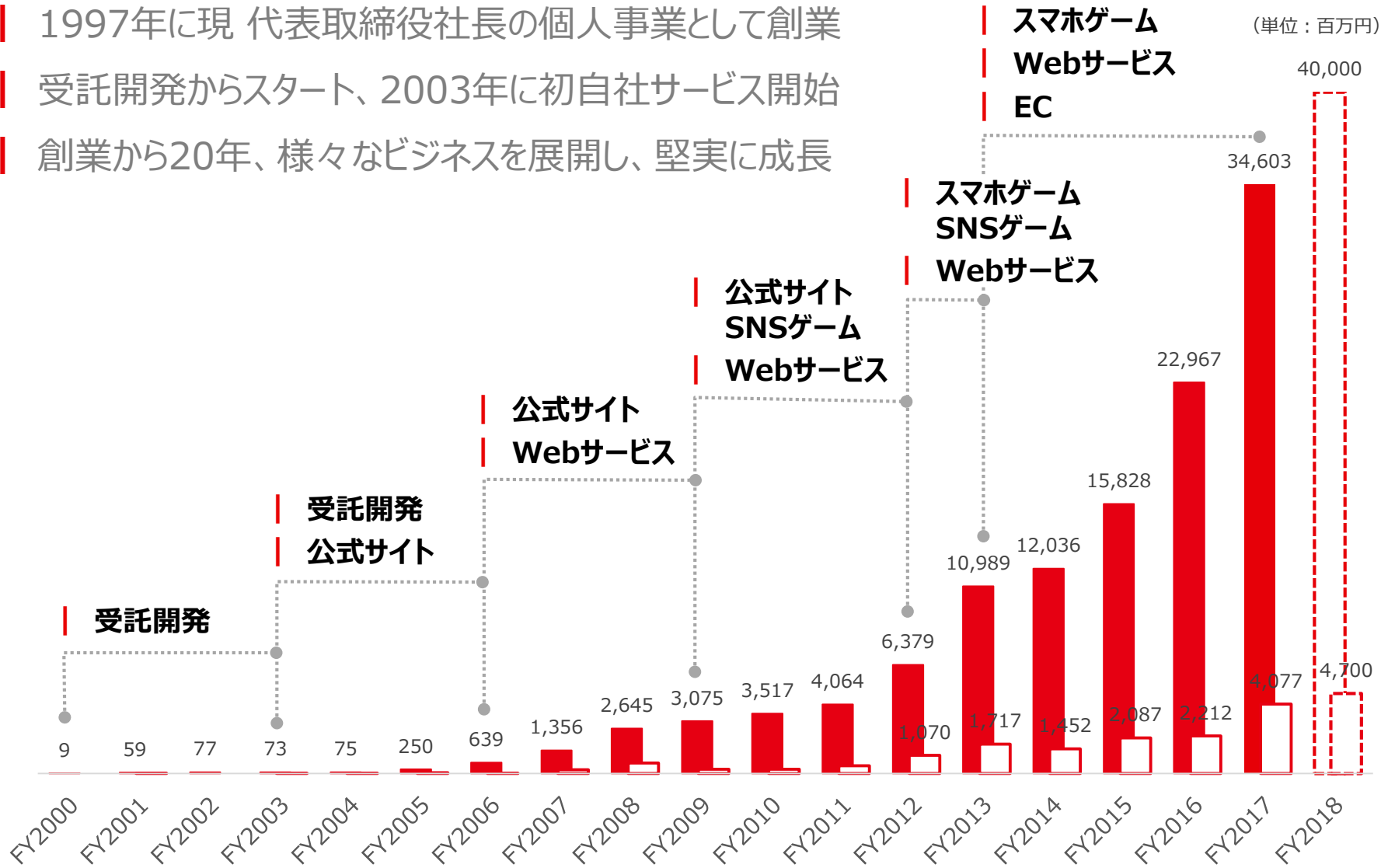
有限会社エイチーム 設立

2004.11.01

株式会社エイチームに組織変更

沿革

1997年に現 代表取締役社長の個人事業として創業
 受託開発からスタート、2003年に初自社サービス開始
 創業から20年、様々なビジネスを展開し、堅実に成長



エイチームのビジネス

インターネットやスマートデバイスを通じて利用者の皆様に様々なサービスを提供



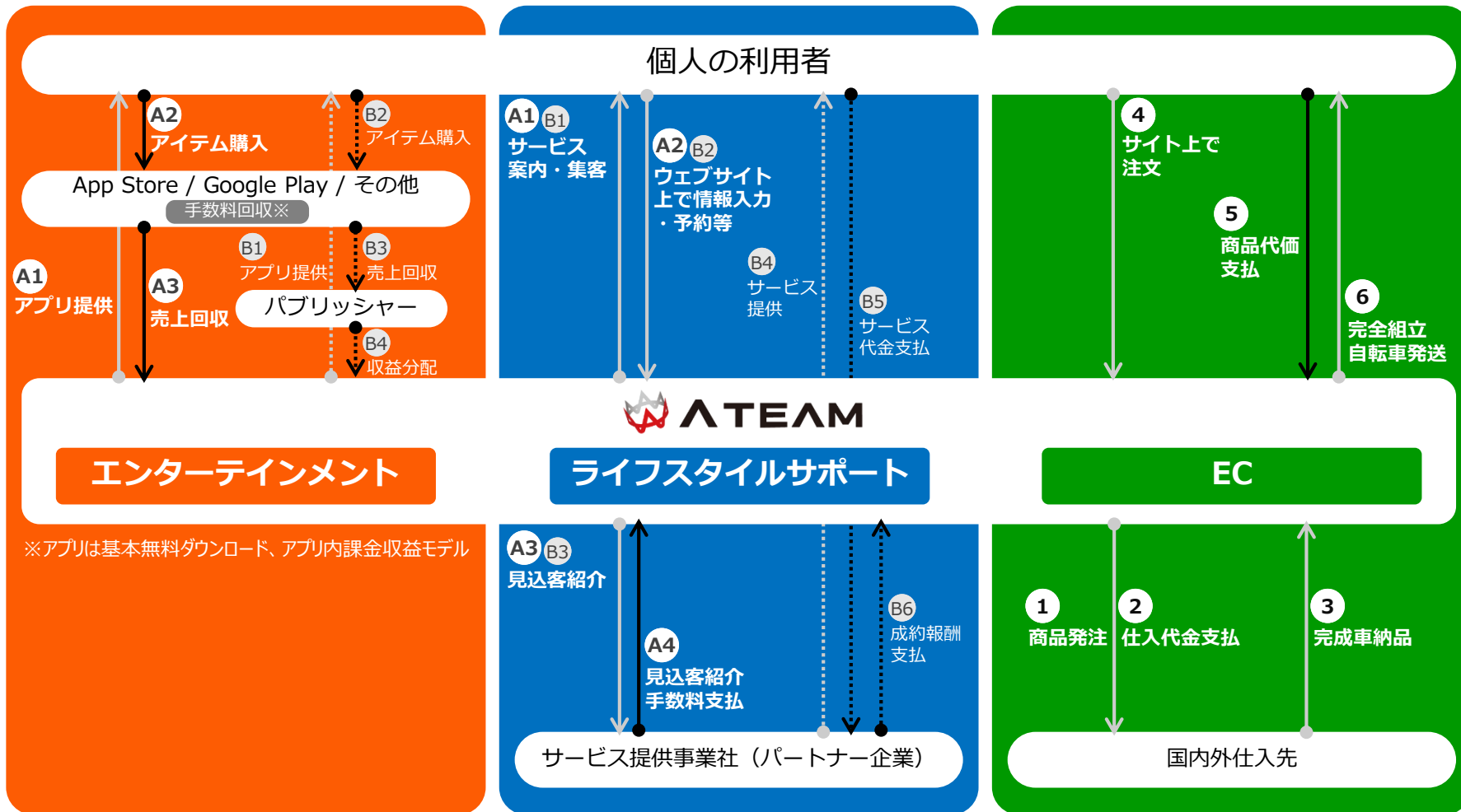
ビジネスモデル

Ⓐ … メイン収益のビジネスモデル (実線矢印)

Ⓑ … サブ収益のビジネスモデル (点線矢印)

⇄ … 商流

⇄ … 金流



※アプリは基本無料ダウンロード、アプリ内課金収益モデル

手数料 … App Store及びGoogle Play等、アプリ配信専用プラットフォーム運営者への支払手数料。アプリ内課金収益から手数料差引後入金。売上はグロス計上

エンターテインメント事業 主要ゲーム&ツールアプリ

Game Apps

ミッドコア RPG (ロールプレイングゲーム)



ヴァルキリーコネクト



ユニゾンリーグ



レギオンウォー



ダークサマー



三国大戦スマッシュ!

アクション

シミュレーション



ダービーインパクト

パズル



ポンゴコンボ

麻雀



麻雀 雷神 - Rising -

公式サイト



エターナルゾーン



ミリオンヴァーサス

Tool Apps

メモリ解放



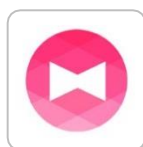
Game Boost Master

SNS



ジャム

着せ替え



[+]HOME

ZeroApp シリーズ (無料で使える便利ツール)



快眠サイクル
時計



楽々
カロリー管理



アイトレ3D



3分
フィットネス



さくさく
英単語



きせかえ
ミラー

ライフスタイルサポート事業 サブセグメント別主要サービス

引越し 関連事業



引越し比較・予約サイト

- 一度の入力で最大10社の引越し業者から見積を取得
- 提携引越し業者数は全国250社以上
- 業界シェアトップ、引越し周辺サービスも多数展開

自動車 関連事業



車査定・車買取サイト

- 一度の入力で最大10社の買取り業者から見積を取得
- 厳正な基準を満たした一流業者と提携
- 業界シェアトップ

ブライダル 関連事業



結婚式場情報サイト

- 全国500以上の結婚式場から会場をご紹介
- プロのアドバイザーが常駐する実店舗を全国12店舗展開
- 「ハナユメ定額ウエディング」、「ハナユメPhoto」等も展開

金融 メディア 事業



キャッシング・カードローン
総合検索サイト

- 厳選した大手銀行、消費者金融のサービスを徹底比較
- 「ナビナビキャッシング」に加え、「ナビナビクレジットカード」「ナビナビ住宅ローン」「ナビナビFX」を展開

その他 事業



- 女性向け生理日予想および体調管理アプリ
- プログラマ向けの技術情報共有サービス

EC事業

自転車 EC

cyma -サイマ-
life & discovery

自転車通販サイト
「サイマ」

- 取扱い自転車200種類以上
- 専属整備士が整備、すぐに乗れる状態で自宅まで配送
- 日本最大級の自転車通販サイト



cyma -サイマ-
life & discovery

シティサイクル	折りたたみ自転車	ミニベロ (小径車)
スポーツ車	電動自転車	こども用自転車

さらに → **全品国内整備**
国内自社整備工場からお届け

資格を持つ **整備士**
による組立・品質チェック

自転車全品 **送料無料**
ご自宅までお届け致します

店舗以上の安心を
1年間のパンク修理保証&ロードサービスつき

全国の自転車店で受けられる**パンク修理保証つき!**
【お家でパンクCARE (ケア)】

4つの修理を保証します

パンク修理 (チューブ・タイヤ交換含む)	ブレーキ修理
チェーン修理	張りの調整

すべて自社整備工場からお届けしています

常時10000台以上の自社在庫を保有
だから価格もお買い得!

神戸工場

名古屋工場

東京工場

取締役



中内 之公

取締役

エンターテインメント事業本部長



熊澤 博之

取締役

ライフスタイルサポート事業本部長



牧野 隆広

取締役



加藤 淳也

社外取締役

グループ会社 社長

兼任

Ateam Vietnam Co., Ltd.
President

兼任

(株) エイチーム引越し侍
代表取締役社長

(株) エイチームコネク
代表取締役社長



間瀬 文雄

(株)エイチームライフスタイル
代表取締役社長



大崎 恵理子

(株) エイチームブライズ
代表取締役社長



海野 弘成

Increments (株)
代表取締役

APPENDIX B

主な経営指標

P/L (FY2016 Q2 - FY2018 Q2)

(単位：百万円)

	FY2016			FY2017				FY2018	
	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
売上高	5,420	6,178	6,757	7,136	8,147	9,906	9,412	8,904	9,164
Q/Q 増減率 (%)	+17.6	+14.0	+9.4	+5.6	+14.2	+21.6	-5.0	-5.4	+2.9
エンターテインメント事業	3,173	3,196	3,857	4,089	4,886	5,200	5,082	4,315	4,319
ライフスタイルサポート事業	2,064	2,550	2,513	2,652	2,952	3,990	3,746	3,954	4,313
EC事業	182	431	385	393	308	715	584	634	531
売上原価	825	987	1,038	1,105	1,221	1,671	1,671	1,476	1,649
原価率 (%)	15.2	16.0	15.4	15.5	15.0	17.0	17.8	16.6	18.0
販売管理費	4,450	4,392	4,969	5,737	6,196	6,486	6,434	6,464	6,421
販売管理費率 (%)	82.1	71.1	73.6	80.4	76.1	65.3	68.4	72.6	70.1
費用総額 (売上原価+販売管理費)	5,276	5,380	6,008	6,843	7,417	8,158	8,105	7,940	8,071
人件費・採用費	805	814	884	872	935	931	1,066	1,025	1,089
広告宣伝費	2,326	2,433	2,758	3,432	3,551	3,623	3,410	3,600	3,866
広告宣伝費率 (%)	42.9	39.4	40.8	48.1	43.6	36.6	36.2	40.4	42.2
エンターテインメント事業	1,030	947	1,276	1,746	1,700	1,220	1,228	1,150	1,244
ライフスタイルサポート事業	1,184	1,368	1,338	1,547	1,728	2,230	2,040	2,302	2,472
EC事業	48	50	79	70	62	117	84	93	79
支払手数料等	1,171	1,177	1,401	1,468	1,779	2,051	2,018	1,588	1,572
外注・サーバー費	267	275	235	254	297	315	331	532	518
オフィス賃料	235	177	177	178	218	238	243	249	251
その他費用	470	501	551	636	634	997	1,034	945	773
営業利益	144	798	748	293	729	1,748	1,306	963	1,093
Q/Q 増減率 (%)	-72.2	+452.0	-6.3	-60.8	+148.5	+139.7	-25.3	-26.3	+13.4
エンターテインメント事業	440	601	706	302	807	1,440	1,270	865	884
ライフスタイルサポート事業	294	554	425	369	326	715	516	550	686
EC事業	-62	-23	-43	-34	-46	-65	-32	-44	-68
営業利益率 (%)	2.7	12.9	11.1	4.1	9.0	17.6	13.9	10.8	11.9
経常利益	112	751	736	292	778	1,738	1,308	980	1,096
親会社株主に帰属する四半期純利益	17	479	504	138	537	1,162	741	678	754

P/L (FY2012 - FY2017)

(単位：百万円)

	FY2012	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017	Y/Y (%)
売上高	6,379	10,989	12,036	15,828	22,967	34,603	+50.7
Y/Y 増減率 (%)	57.0	72.3	9.5	31.5	45.1	50.7	-
エンターテインメント事業	3,278	6,632	6,169	7,914	12,559	19,259	+53.3
ライフスタイルサポート事業	3,100	4,357	5,834	7,557	9,193	13,342	+45.1
EC事業	0	0	32	356	1,214	2,001	+64.7
売上原価	927	1,392	2,132	2,389	3,615	5,669	+56.8
原価率 (%)	14.5	12.7	17.7	15.1	15.7	16.4	+0.7
販売管理費	4,381	7,880	8,451	11,351	17,139	24,855	+45.0
販売管理費率 (%)	68.7	71.7	70.2	71.7	74.6	71.8	-2.8
費用総額 (売上原価+販売管理費)	5,309	9,272	10,583	13,740	20,755	30,525	+47.1
人件費・採用費	1,540	2,083	2,638	2,798	3,250	3,807	+17.1
広告宣伝費	2,331	4,310	4,279	6,430	9,335	14,018	+50.2
広告宣伝費率 (%)	36.5	39.2	35.6	40.6	40.6	40.5	-0.1
エンターテインメント事業	399	1,571	789	1,651	3,748	5,895	+57.3
ライフスタイルサポート事業	1,914	2,673	3,422	4,578	5,109	7,547	+47.7
EC事業	0	0	8	61	221	335	+51.6
支払手数料等	624	1,600	1,737	2,586	4,592	7,318	+77.2
外注・サーバー費	250	528	826	785	1,035	1,198	+15.8
オフィス賃料	190	337	420	433	728	879	+20.7
その他 (費用総額-上記費用)	371	411	682	706	3,340	3,303	-1.1
営業利益	1,070	1,717	1,452	2,087	2,212	4,077	+84.3
Y/Y 増減率 (%)	138.5	60.4	-15.4	43.8	6.0	84.3	-
エンターテインメント事業	1,126	1,866	1,409	1,770	2,297	3,820	+66.3
ライフスタイルサポート事業	539	632	840	1,298	1,637	1,929	+17.8
EC事業	0	0	-34	-115	-172	-178	+3.6
営業利益率 (%)	16.8	15.6	12.1	13.2	9.6	11.8	+2.2
経常利益	1,047	1,718	1,470	2,164	2,094	4,118	+96.6
税引前当期純利益	1,008	1,688	1,364	2,091	1,858	3,854	+107.4
親会社株主に帰属する当期純利益	590	1,042	807	1,362	1,292	2,579	+99.6

B/S (FY2012 - FY2017)

(単位：百万円)

	FY2012	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017
資産の部						
流動資産	2,709	3,760	4,034	6,334	6,918	9,809
現預金	1,339	1,944	2,217	3,097	3,505	5,004
固定資産	443	881	1,470	1,322	2,668	3,331
有形固定資産	45	102	120	125	1,321	1,666
無形固定資産	120	410	355	460	622	507
投資その他の資産	277	367	994	736	724	1,157
資産合計	3,153	4,641	5,504	7,656	9,586	13,140
負債の部						
流動負債	1,153	1,136	1,305	3,648	4,127	5,202
固定負債	0	0	0	0	387	481
負債合計	1,153	1,136	1,305	3,648	4,514	5,683
有利子負債	100	0	0	1,700	1,166	632
純資産の部						
株主資本	1,999	3,500	4,130	3,900	4,971	7,361
自己株式	0	0	0	-1,403	-1,222	-1,177
新株予約権	0	5	67	108	100	96
純資産合計	1,999	3,505	4,198	4,008	5,072	7,456
負債・純資産合計	3,153	4,641	5,504	7,656	9,586	13,140

その他経営指標 (FY2012- FY2017)

	FY2012	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017
発行済株式総数 (株)	18,393,000	19,195,000	19,349,200	19,405,600	19,450,000	19,469,800
自己株式数 (株)	0	0	0	580,020	302,562	302,562
期中平均株式数 (株)	16,882,352	18,933,262	19,255,641	19,310,191	18,846,317	18,904,872
EPS (1株当たり当期純利益、円)	34.99	55.04	41.96	70.54	68.58	136.45
EPS増減率 (%)	117.5	57.3	-23.8	45.6	-2.8	+99.0
ROA (総資産経常利益率、%)	42.3	44.1	29.0	32.9	24.3	36.2
1株当たり純資産 (円)	108.7	182.4	213.5	207.2	263.4	389.0
1株当たり配当金額 (円)	0.00	10.61	10.00	12.50	12.50	27.00
中間配当額 (円)	0.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
配当総額 (百万円)	0.00	203	192	238	239	517
配当性向 (%)	0	19.3	23.8	17.7	18.2	19.8
株主資本比率 (%)	63.4	75.4	75.0	50.9	51.9	56.0
自己資本比率 (%)	63.4	75.4	75.1	50.9	51.9	56.0
ROE (自己資本当期純利益率、%)	38.9	37.9	21.2	33.9	29.1	41.8
ROIC (=①÷②、%)	29.9	30.3	20.8	21.0	25.1	34.1
①税引き後営業利益 (百万円)	626	1,059	859	1,178	1,539	2,729
②運転資本 (=③+④、百万円)	2,099	3,500	4,130	5,600	6,137	7,993
③株主資本 (百万円)	1,999	3,500	4,130	3,900	4,971	7,361
④有利子負債 (百万円)	100	0	0	1,700	1,166	632

※当社は2011年10月27日に1:100、2012/06/01に1:3、2015/05/01に1:2の割合をもって株式分割を行っております。このため、上記にはFY2011の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たりの金額を算定しております。従いまして、上記には過去に当社が発表した決算書類と異なる数値が一部含まれます。

「みんなで幸せになれる会社にする事」

「今から100年続く会社にする事」



本発表において提供される資料並びに情報は、いわゆる「見通し情報（forward-looking statements）」を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでいます。それらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。